

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	12453	担当課等	社会教育課						
事務事業名	家庭教育推進事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	7	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	1 家庭教育	(1) 家庭の教育力の向上	①学習機会の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	社会の変化とともに、家族や子供を取り巻く環境が様々に変容する中で、家庭教育のあり方やこれからの時代を生きる子供達の子育てについて理解を深め、各家庭の教育力を高める。								
対象	保育園児、幼稚園児、小学生及び中学生の保護者及び関心のある方								
内容	家庭教育及び人権教育に係る講義等を年数回開催するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	事業費	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
コスト	人件費	常勤職員	20,565	20,105	21,122		
		会計年度任用職員等	35,388	43,416	46,152		
		人件費合計	55,953	63,521	67,274		
		総事業費	116,649	388,239	194,118		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	116,649	388,239	194,118			
	財源合計	116,649	388,239	194,118			
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値	
家庭教育学級実施回数		参加機会の提供	回	3	3	3	
託児受付回数		託児による学習機会の提供	回	0	1	3	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値	
参加人数		子育ての理解を高める	人	200	164	200	
託児利用人数		受講者による利用	人	0	3	20	

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	生涯学習の一環として家庭教育について学ぶ機会を提供するため、町が実施すべきである。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	就学後の児童の子育てに対する様々な内容の講義は他の事業にはなく、参加者が子育てに対し理解を深め、考えるきっかけとなっている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	専門知識をもつ講師の選定により幅広い知識の習得ができる。また、子育てに対する多角的な考えが身についている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	各学校や保育園、幼稚園また広報などを通じて幅広く参加の募集を行っている。
令和4年度までの自己評価または改善点	できるだけ受講対象者が受講しやすい時期、時間帯となるよう開催時期を調整した。保育グループ会員の高齢化が進んでいるが、会員内で声をかけあい、新会員の加入に努めている。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	内容は主に年3回の講演会開催であり、各学校、幼稚園、保育園の保護者等の協力で実施しているため、委託は不要と考えられる。
令和5年度の見直し及び改善予定	会場での受講のほか、受講者の利便性を考慮し、オンライン配信を実施。保育グループが解散したこともあり、第1回家庭教育学級開催の際は、保育スペースとして、町民体育館の利用を検討する。	
令和6年度以降の方向性	町広報紙やホームページ、SNS等を活用し、参加人数の確保に努める。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	6046	担当課等	社会教育課							
事務事業名	町民大学運営事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	7	目	1	事業開始年度	昭和32年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	4 生涯学習	(1) 生涯学習推進体制の整備	①町民大学の拡充				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	60年以上の歴史を持ち湯河原の住民の生涯学習の場として大きな魅力を持つ教養講座として学習意欲に応える。								
対象	町民、町内在勤者								
内容	各分野の専門家を講師に招き、講義形式で毎月1回(第3土曜日)の講座を開催。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		11,566		475,224		1,400,000	
	人件費	常勤職員	43,467		679,920		714,312	
		会計年度任用職員等	0		497,400		1,257,000	
		人件費合計	43,467		1,177,320		1,971,312	
	総事業費		55,033		1,652,544		3,371,312	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		55,033		1,652,544		3,371,312	
	財源合計		55,033		1,652,544		3,371,312	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
年間開催講義数			講座を受講できる機会		回	0	0	12
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
継続的に出席している受講生の割合			年間6回以上出席者数/受講申込者数		%	0	0	90
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町民の学習意欲に応える場として、また60年以上続く講座として、町が今後も実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	他事業で幅広い年齢の対象者が継続的に学習できる事業はなく、また出席率も高い水準を維持できている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	継続して事業を行い、出席率も高い水準を維持しており、町民の学習意欲に応えることができている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	定員はあるが、広報紙やHP、町内各所で広く広報し、受講生を募集している。
令和4年度までの自己評価または改善点		新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた開講(全12回講演)を送った。次年度以降、会場や定員の見直しする必要がある。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	町民大学運営委員による運営は、開講以来60年の歴史があり、平成28年度からは同委員会へ委託済み
令和5年度の見直し及び改善予定	令和5年度の開校に向け、常任講師に原稿を作成してもらい、机上講義を行った。会場をコミュニティセンター、定員を100名としての開校を検討する。	
令和6年度以降の方向性	会場をコミュニティセンターとし、定員を150名としての開校を検討する。運営委員会の選考による講義のほか、幅広い年代の受講者に魅力のある内容の講義が提供できるよう模索する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	12520	担当課等	社会教育課						
事務事業名	学習活動推進事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	7	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	4 生涯学習	(2) 生涯学習内容の充実	①多様なライフスタイルに対応した学習プログラムの作成				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	地域会館の活用など地域に根ざした生涯学習を図るとともに、郷土の豊かな自然や文化財に興味や関心を深める機会をつくり、湯河原の特色を生かしたまちづくりにつなげる。								
対象	町民								
内容	各種観察会(ツバメや野鳥、海のプランクトン、野山の植物)、天体観察、地域の歴史と文化施設などの訪ね歩きの実施。また、地域における生涯学習推進委員のスキルを高めるための研修講座や情報交換会等を開催する。また、陶芸教室では、親子がふれあいを深めながら、自然の材料から作品ができる過程を学ぶ。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		304,411		290,679	
コスト	人件費	常勤職員	52,161	99,155	99,155	
		会計年度任用職員等	3,932	19,296	20,512	
		人件費合計	56,093	118,451	119,667	
	総事業費		360,504	409,130	444,385	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源		84,000			
	一般財源		276,504	409,130	444,385	
	財源合計		360,504	409,130	444,385	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
開催回数		参加機会の確保	回	4	4	5
事業開催数		地域の自主的な実施	回	0	11	9
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
参加者数		学習機会の提供	人	100	79	100
事業参加者数		地域の自主的な実施	人	0	155	150

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	多様な生涯学習に対応し、幅広い世代に興味を持ってもらうために、町が実施する事業と地域が主体となって行う事業がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	自然や文化財に触れる事業は他に類似がないことから、郷土に関心を持つきっかけとなっている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	郷土への知識を深めるきっかけとなり、自然に関心を深める機会となる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	地方紙や町広報誌のほか、町内学校での事業広報により参加募集を行っている。
令和4年度までの自己評価または改善点		各種講座は親子のふれあいと学習を兼ねた機会として定着し、ほぼ定員で実施している。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	個別の事業ごとにジャンルや方向性が異なり、同一事業として委託は困難である。委託が可能な事業もあるが、参加費とのバランスが難しい。
令和5年度の見直し及び改善予定	参加人数の少ない事業もあるため、各講座の内容等を検討し、見直しが必要。	
令和6年度以降の方向性	将来を担う児童がふるさと湯河原の自然環境を知り、また親子のふれあいにより家庭教育の機会となる事業であることから、各講座の内容等を検討し、定員数も含め見直しを図る。また、参加人数の少ない事業もあるため、広報紙への掲載や学校にチラシを配布するなど従来の方法のほかメルマガなどSNSも活用し、広報に力を入れる。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	12786	担当課等	社会教育課						
事務事業名	ヘルシープラザ運営経費								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	8	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	5 スポーツ	(1) スポーツ施設の充実	①スポーツ施設の利用促進・運営充実
関連する個別計画					
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー
	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源
	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし	
目 的	町民の体力増進、健康維持のための施設の提供をする。				
対 象	町民ほか				
内 容	ヘルシープラザの管理・運営				

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		25,799,433		28,304,169	
コスト	人件費	常勤職員	289,780	283,300	297,630	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	289,780	283,300	297,630	
	総事業費		26,089,213	28,587,469	30,462,630	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		26,089,213	28,587,469	30,462,630	
	財源合計		26,089,213	28,587,469	30,462,630	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
団体利用件数		利用実績	件	2629	3028	3500
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
利用者総数		利用実績	人	49268	53928	60000
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町所有の施設であるため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	民間のノウハウを生かした効果的かつ効率的な運営ができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	町民の体力増進、健康維持に寄与している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町民に限らず、利用が可能である。
令和4年度までの自己評価または改善点		令和4年度は利用人数を制限しながら運営した。電気料金高騰により補正予算で対応した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 指定管理者制度導入済み
令和5年度の見直し及び改善予定	特になし(通常利用)
令和6年度以降の方向性	特になし(通常利用)

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)
---------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	
---------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	12787	担当課等	社会教育課						
事務事業名	町民体育館運営経費								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	8	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	5 スポーツ	(1) スポーツ施設の充 実	①スポーツ施設の利用促進・運営充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
			○	○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	スポーツの利用だけでなく、講演会や演奏会、イベントなどにも広く活用できる施設を提供する。								
対 象	町民ほか								
内 容	町民体育館の管理・運営								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		6,885,710		7,009,880		13,623,000	
	人件費	常勤職員	289,780		283,300		297,630	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	289,780		283,300		297,630	
	総事業費		7,175,490		7,293,180		13,920,630	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		7,175,490		7,293,180		13,920,630	
	財源合計		7,175,490		7,293,180		13,920,630	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
利用日数			稼働実績		日	0	15	307
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
利用人数			利用実績		人	0	795	15350
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町所有の施設であるため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	民間のノウハウを生かした効果的かつ効率的な運営ができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	町民の体力増進、健康維持、イベントの開催等多目的に利用されている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町民に限らず、利用が可能である。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和5年3月14日まで新型コロナワクチン接種会場として使用。 令和4年4月1日～令和5年3月14日:ワクチン接種会場 令和5年3月15日～令和5年3月31日:通常利用		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	指定管理者制度導入済み
令和5年度の見直し及び改善予定	特になし(通常利用)	
令和6年度以降の方向性	特になし(通常利用)	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価		
------	--	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	12788	担当課等	社会教育課						
事務事業名	弓道場運営経費								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	8	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	5 スポーツ	(1) スポーツ施設の充実	①スポーツ施設の利用促進・運営充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
			○	○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	弓道ができる施設を提供する。また、弓道教室を開催し、新たな愛好者の増加や競技の普及促進を図る。								
対 象	町民ほか								
内 容	弓道場の管理・運営								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		275,000	2,013,500	2,344,000		
	人件費	常勤職員	144,890	141,650	148,815		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	144,890	141,650	148,815		
	総事業費		419,890	2,155,150	2,492,815		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		419,890	2,155,150	2,492,815		
	財源合計		419,890	2,155,150	2,492,815		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
利用者総数			稼働実績	人	1919	1655	2000
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
利用者総数			稼働実績	人	1919	1655	2000
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町所有の施設であるため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	民間のノウハウを生かした効果的かつ効率的な運営ができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	町民の体力増進、健康維持に寄与している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町民に限らず、利用が可能である。
令和4年度までの自己評価または改善点		令和3年度から指定管理者制度導入	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	指定管理者制度導入済み
令和5年度の見直し及び改善予定	弓道人口の増加を目指す。	
令和6年度以降の方向性	弓道教室を開催し、競技者人口の増加を図る。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価		
---------	--	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	6525	担当課等	社会教育課							
事務事業名	湯河原町体育協会補助事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	8	目	1	事業開始年度	昭和30年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	①スポーツ活動の支援
関連する個別計画					
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー
	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源
目的	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし	
	協会を組織する各部は活発な活動を行っており、スポーツ少年団の育成も町のスポーツ振興に大きく貢献している。また、町スポーツ行事では、企画・立案・運営と中心的な役割を担っており、それらの実績を踏まえ補助を行い、結果、各行事を通して町民の体力向上、健康増進を図る。				
対象	湯河原町体育協会				
内容	各部の人数、活動実績に応じて補助を行う。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		1,227,064		1,451,856	
コスト	人件費	常勤職員	115,912	113,320	119,052	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	115,912	113,320	119,052	
	総事業費		1,342,976	1,565,176	2,019,052	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		1,342,976	1,565,176	2,019,052	
	財源合計		1,342,976	1,565,176	2,019,052	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
開催大会数		活動状況	回	5	2	5
開催教室数		活動状況	回	1	0	1
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
参加者数		体力・技術の向上、健康増進	人	250	132	250
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町民の体力向上と健康増進を図るなど、スポーツに親しむことが重要。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	スポーツ行事への企画・運営に参加している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	町民レクリエーションの集い、湯河原温泉オレンジマラソンなど職員だけでは対応できない行事に協力をいただいている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	各競技部の人数、活動に応じ配分している。
令和4年度までの自己評価または改善点		活動する部数や部員の人数に合わせ、補助額を按分しているが、部員数の減少や部員の固定化・高齢化及び休部も進んでいる。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	団体の運営補助金という性格上、委託や指定管理には馴染まない。
令和5年度の見直し及び改善予定	活動実態に沿った補助を行う。	
令和6年度以降の方向性	経常的な事業のため、保健体育総務費(経常費)に組み替えをし、引き続き活動実態に沿った補助を行う。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	事業費を廃止
---------	----------	--------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	6533	担当課等	社会教育課							
事務事業名	町民レクリエーションの集い開催事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	8	目	1	事業開始年度	平成8年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	②スポーツ・レクリエーションの場づくり				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
			○	○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	誰でも参加できる行事とし、住民の健康・体力の増進のほか、住民相互の親睦や異世代間の交流を行う。								
対 象	町民								
内 容	町内の各区(奥湯河原区は温泉場区と合同)や、会場に来られた方々がスポーツレクリエーションを体験し、体を動かすことの大切さや爽快感を感じ、各自の体力や健康の増進につなげる。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	事業費	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
		0		0		969,590	
コスト	人件費	常勤職員	289,780	283,300	2,476,580		
		会計年度任用職員等			38,592		
		人件費合計	289,780	283,300	2,515,172		
		総事業費	289,780	283,300	3,484,762		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	289,780	283,300	3,484,762			
	財源合計	289,780	283,300	3,484,762			
活動指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
参加者数		参加延べ人数		人	0	0	0
					0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
競技参加者数		競技参加者の延べ人数		人	0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	以前は町民運動会として開催していた事業内容を、競技性を抑え、誰もが参加しやすい行事としたため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	目標値や効率を追求するものではなく、町民多くの参加者に、よりスポーツに慣れ親しんでもらうもの。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	体を動かすことへの関心を喚起している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	多くの方々に参加いただいている。
令和4年度までの自己評価または改善点	実行委員会においてレクリエーションという観点からあらゆる制限のもと開催するものではないとの意見集約が図られた。安全安心に考慮しながらも、従来どおりの開催ができるタイミングを関係団体と調整しながら検討する必要がある。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	区会との調整を除き、委託は可能。
令和5年度の見直し及び改善予定	区会から人を集めるのに苦慮しているという声があるため、実行委員会で事業の規模や手法などを協議し、レクリエーションの集いのあり方について検討する。	
令和6年度以降の方向性	早い段階で、実行委員会を開き、今後のレクリエーションの集いの内容等について検討する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(見直し)	実行委員会で事業の規模や手法などを協議し、レクリエーションの集いのあり方について検討する。
---------	---------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	一次評価と同様
---------	---------	---------

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	6558	担当課等	社会教育課						
事務事業名	各種大会開催事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	8	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	③スポーツ教室、イベントの開催				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
			○	○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	子どもから高齢者まで楽しめるスポーツ大会等を開催し、町民の健康増進、体力の向上、参加者相互のコミュニティ形成等を図る。								
対象	町民								
内容	町が主催する各種スポーツ大会等を各種団体に委託して開催するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		12,839	93,346	255,237		
	人件費	常勤職員	86,934	509,940	1,071,468		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	86,934	509,940	1,071,468		
	総事業費		99,773	603,286	1,326,705		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		99,773	603,286	1,326,705		
	財源合計		99,773	603,286	1,326,705		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
開催大会・教室数			開催実績	回	0	3	5
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
競技参加者数			大会・教室開催の効果	人	0	152	250
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	3	運営を体育協会等に委託しているが、運営団体自らが企画・運営できると判断した事業については、独自開催へ移行する。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	町費の負担は少額であるが、参加者の満足度は高いと感じられる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	毎年同時期に開催される各大会での成績を目標とするだけでなく、参加することを楽しみとしている町民が多くおり、スポーツ振興以外の効果もあると思われる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	主に町民を対象とした大会等であり、参加が容易である。
令和4年度までの自己評価または改善点	平成27年度に、大会の種目をソフトバレーボールから、スポーツ推進委員会が普及促進しているファミリーバドミントンに変更した。 新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送った大会がある。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	体育協会、スポーツ推進委員に委託済み。
令和5年度の見直し及び改善予定	大会の参加者数、チーム数の規模や運営方法などを検討するとともに、その必要性についても検証することで、町民のニーズに合わせたレクリエーション等としたい。	
令和6年度以降の方向性	引き続き、町民のニーズに合わせた大会等としたい。 参加者が増えるよう検討していく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	6483	担当課等	社会教育課							
事務事業名	湯河原温泉オレンジマラソン開催事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	8	目	1	事業開始年度	平成2年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	③スポーツ教室、イベントの開催
関連する個別計画					
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー
			○	○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源
目 的	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等	
	16平和	17実行手段	該当なし		
対 象	小学1年以上の方				
内 容	3km、5km、10km、大人と子どもで3kmを走るファミリー、ペアの年齢合計が100歳以上で走るペア3kmの各種目の選手が、同時スタートで走る。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)		
	事業費		0	10,435,192	20,842,000		
	人件費	常勤職員	579,560	3,399,600	3,571,560		
		会計年度任用職員等		373,860	397,420		
		人件費合計	579,560	3,773,460	3,968,980		
	総事業費		579,560	14,208,652	24,810,980		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		579,560	14,208,652	24,810,980		
	財源合計		579,560	14,208,652	24,810,980		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
申込者数			大会認知度及び普及目安	人・組	0	798	1000
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
湯河原町宿泊者数			観光客の誘客	人	0	60	10
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	関係機関をはじめ、協力各方面への依頼は行政でなければならない。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	毎回3,000人を超える応募があり、北海道など遠隔地からの参加者もいる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	参加者は、無料入浴による湯河原温泉の体験のほか、町内の観光や土産物を購入している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	参加賞のほか、上位入賞者へ賞品が用意されている。また希望者へ無料入浴券を配布しており、温泉風呂に入ることもできる。
令和4年度までの自己評価または改善点		平成20年度予算から町直営とした。 令和4年度は、コロナ感染症対策を講じ、10kmコースのみ、1,000人規模での大会を開催した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	業務により委託しているが、大会全てを委託に出すことは、検討したことがないが、職員への負担が大きく、検討する時期にきている。
令和5年度の見直し及び改善予定	通常規模での開催に戻すが、会場、規模及び定員についてもしっかりと関係機関と調整する必要がある。特に主会場となる湯河原小学校の運用方法や更衣室のトイレの問題については課題となっている。	
令和6年度以降の方向性	関係機関と検討・検証を行う。特に安全対策における管理運営については、協力団体との十分な調整が必要になる。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	12452	担当課等	社会教育課						
事務事業名	青少年健全育成活動推進事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	7	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	①青少年健全育成関係団体の支援				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	地域において大人と子どものふれあいを図り、青少年の健全育成につなげる。								
対 象	各地区「明るい青少年を育てる会」(5地区)、「母親クラブ」(2地区) 町内在住・在学中、ジュニアリーダー、シニアリーダー 湯河原町子ども会育成団体連絡協議会、湯河原町青少年指導員会								
内 容	地域活動を推進・支援するため、5地区の「明るい青少年を育てる会」及び2地区の「母親クラブ」の団体運営に対して助成を行う。また、地域の各団体における各種体験活動を推進・支援するための事業を、関係団体に委託して実施するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		217,016	417,139	520,000		
	人件費	常勤職員	28,978	141,650	148,815		
		会計年度任用職員等		46,732	49,677		
		人件費合計	28,978	188,382	198,492		
	総事業費		245,994	605,521	718,492		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金		160,000	208,000	208,000		
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		85,994	397,521	510,492		
	財源合計		245,994	605,521	718,492		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
助成交付団体数			関連団体全てを支援	件	4	5	7
支援行事数			幅広い事業を支援する	回	1	4	3
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
助成交付団体数			申請団体全てに交付	件	4	5	7
参加者数			体験活動の直接効果	人	0	178	200

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	ゆがわら2011プランの主要施策として明文化している事業であるため、町が実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	各団体の総事業費に対する町の助成額は5万円未満であり、町側にかかる費用は少ないが、各団体ごとに積極的に活動している。
類 似 性	他事業との類似はないか	5	
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	各団体が、各地域の特色を生かした様々な青少年健全育成事業の実施に活用されている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	各団体に対し均等助成をしている。広報紙等で広く町民に向けて募集をしている。
令和4年度までの自己評価または改善点		関連事業を統合することで、より地域間の連携を図ることができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9
令和5年度の見直し及び改善予定	参加者の確保策を講じ、継続して実施する。
令和6年度以降の方向性	各団体・地域の実情を踏まえ、要望等を把握することで、推進を図る。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)
---------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)
---------	----------

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	6149	担当課等	社会教育課						
事務事業名	放課後児童健全育成事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	7	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	④学童保育・放課後子ども教室の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	放課後及び学校休業中に保護者等の適切な保護を受けることができない小学生の安全な居場所を確保する。								
対 象	町内の小学生								
内 容	町内3小学校に在籍する児童を対象に、3小学校内において学童保育を実施。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		53,585,963	54,366,952	54,099,209		
	人件費	常勤職員	3,506,500	3,428,000	3,616,000		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	3,506,500	3,428,000	3,616,000		
	総事業費		57,092,463	57,794,952	57,715,209		
財源内訳	国庫支出金		12,688,800	11,603,000	11,000,000		
	県支出金		12,328,000	10,814,000	10,000,000		
	地方債						
	その他特定財源		15,349,500	16,060,000	15,000,000		
	一般財源		16,726,163	19,317,952	21,715,209		
	財源合計		57,092,463	57,794,952	57,715,209		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
学童保育所運営日数			1年間の開所日数	日	288	297	288
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
希望者入所率			入所者数/入所申請者数×100	%	100	100	100
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	児童福祉法で、町は、放課後児童健全育成事業の実施に努めなければならないと規定されているため、町が外部に委託している。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	他事業で類似するものがない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	入所希望している児童が待機せず、すべて入所で、適切な保護を受けられている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	申請にあたり条件はなく、申請後は運営委員会による審査会において選考している。
令和4年度までの自己評価または改善点		令和元年10月から、民間事業者への委託を開始した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理 導入の可能性	9	
令和5年度の見直し 及び改善予定	児童・保護者・支援員・学校等関係機関と密に連携し、安心できる居場所の提供ができるよう情報交換を行う。	
令和6年度以降の 方向性	児童、保護者のニーズを把握し、引き続き健全かつ安全な施設の運営を図る。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	6189	担当課等	社会教育課						
事務事業名	放課後子ども教室推進事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	7	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	④学童保育・放課後子ども教室の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	小学校の余裕教室を利用して、地域の大人の協力を得て子どもたちの活動拠点(居場所)を確保し、様々な体験活動や地域住民との交流等を支援する。								
対 象	町内の小学生								
内 容	活動推進員やサポーターを配置した上で、湯河原小学校で児童の自主的な学びの場として「まなび教室」を、東台福浦小学校で放課後の安全な居場所として「そよかぜ教室」を行い、平成30年10月から吉浜小学校で「JUMP」を開催した。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		4,000,152	4,522,390		5,139,000		
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等	1,205,000	1,243,500		1,257,000		
		人件費合計	1,205,000	1,243,500		1,257,000		
	総事業費		5,205,152	5,765,890		6,396,000		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金		1,631,000	2,257,000		2,000,000		
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		3,574,152	3,508,890		4,396,000		
	財源合計		5,205,152	5,765,890		6,396,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
実施箇所数			教室の数		箇所	3	3	3
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
登録児童数			3教室の登録数		人	111	118	150
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	子どもたちと地域住民とをつなぐパイプ役として町が実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	学校とは違った体験や交流活動を行うことができている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	それぞれの教室で参加している子どもたちに、体験活動や交流、居場所作りの機会を与えることができおり、その中で子どもたちが成長している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	3小学校ともに設置されていることおり、学びの機会を提供することができる。
令和4年度までの自己評価または改善点		各教室について、それぞれのカリキュラムに応じたコーディネーター、サポーターの協力により円滑な運営ができている。また湯小ではプログラミング学習、吉小では英語に親しむ学習、東台小では昔遊びの習得など、特色を生かしたカリキュラムにより実施されている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	地域の人材を活用した子どもへの学習機会の提供の場であり、委託が馴染む事業ではないと考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	引き続き、各教室ともに独自のカリキュラムを実施していく。	
令和6年度以降の方向性	3小学校のコーディネーターなどによる情報交換会の開催、学童保育との連携に向け検討が必要。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	6093	担当課等	社会教育課						
事務事業名	二十歳のつどい開催事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	7	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	②青少年育成体験活動の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	青年に大人としての自覚を持つよう促し、ふるさと湯河原へ集ってもらうことで郷土への関心を高める。								
対象	その年度内に新成人となる町民、または以前に湯河原に居住していたことのある新成人								
内容	対象者から実行委員を募集し、自主的に式典や記念の集いなどの企画や運営を行ってもらう。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)		
	事業費		1,119,258	1,279,139	615,459		
	人件費	常勤職員	579,560	566,600	595,260		
		会計年度任用職員等	106,655	130,851	139,097		
		人件費合計	686,215	697,451	734,357		
	総事業費		1,805,473	1,976,590	1,349,816		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		1,805,473	1,976,590	1,349,816		
	財源合計		1,805,473	1,976,590	1,349,816		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
成人のつどい開催回数			年1回の開催	回	1	1	1
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
出席率			登録者に対する出席率	%	70	65	75
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	新成人による実行委員会の立ち上げ及び運営に必要な財源の確保は実行委員会だけでは困難である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	生涯で一度の行事として当事業を行うことで、大人としての自覚を持つきっかけとなっている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	多くの新成人が参加し、多くの方に大人になることを自覚してもらう機会を与えることができている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	住民登録のある新成人全員に案内するほか、申し出のあった登録外の新成人も参加可能。また、欠席者のうち希望者には記念品を贈呈している。
令和4年度までの自己評価または改善点		新成人へ記念品(冠婚葬祭のマナー本)を贈呈している。 町民体育館が、コロナワクチンの接種会場となったため、会場を湯河原中学校体育館に変更して開催した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	実行委員による自主的な企画・運営に意味があることなので、委託は不可能
令和5年度の見直し及び改善予定	町民体育館に会場を戻しての開催を検討する。	
令和6年度以降の方向性	早期に実行委員会を立ち上げ、会場や式典の内容について検討する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	5983	担当課等	社会教育課						
事務事業名	文化祭開催事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	7	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	Ⅱ 文化芸術の振興・保存	7 文化芸術	(2) 町民文化芸術活動の支援	①教養文化の土壌醸成				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	芸術・文化の各分野で活動している各種文化団体などが日頃の成果を発表する場を設けることにより、文化活動への参加意欲と団体間の交流を深め、町の文化の振興・発展を図る。								
対象	各種団体等								
内容	毎年10月～11月の2か月間に、音楽会や文化祭など各団体の活動の発表の場を提供することで、活動の活性を図るとともに、団体間の交流を深めることで振興を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		0		343,648	
コスト	人件費	常勤職員	57,946	339,960	357,156	
		会計年度任用職員等	3,932	19,296	20,512	
		人件費合計	61,878	359,256	377,668	
	総事業費		61,878	702,904	810,668	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		61,878	702,904	810,668	
	財源合計		61,878	702,904	810,668	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
文化祭実行委員会		交流機会の回数	回	2	4	2
音楽会実行委員会		交流機会の回数	回	2	4	2
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
文化祭参加団体数		文化の振興・発展した団体数	団体	0	11	13
音楽会参加団体数		文化の振興・発展した団体数	団体	0	3	6

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	実行委員会の組織づくりや事業の準備運営、PRに向けた支援は必要である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	PRの強化や開催日の調整により、参加者を増やす余地があると思われる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	町民が文化や芸術に触れる機会や意識高揚に効果を上げている。ただし、各団体ともに高齢化が進む中で、若い世代の参加を増やすことが課題。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	広く全町に周知PRし、活動への呼びかけを行うことで振興を図れている。
令和4年度までの自己評価または改善点	事業実施に向けて各団体が、自主性・主体性を意識した活動ができるよう努めている。また、若い世代にも関心を抱いていただけるよう各団体の周知を図るとともに、活動の場を提供できるよう支援を図りたい。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町内で活動する各種文化団体、サークル等の発表の機会を設けることを目的としていることから委託に適さない。
令和5年度の見直し及び改善予定	新たな参加団体の発掘に力を注ぎ、若い世代を含め、本町の特色のある文化振興を目指し、事業を継続する。	
令和6年度以降の方向性	メンバーの高齢化が進み、解散や活動休止している団体も見受けられる。本町の文化振興を継続させるためにも、より多くの町民に活動への参加を促すために、団体の周知PRや発表の場の提供するなどの支援を行う必要がある。発表についても、複数の団体が、より関わりを持てるよう共同開催等の方策を検討する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

事業番号	6115	担当課等	社会教育課						
事務事業名	親善都市子ども交流推進事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	7	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	Ⅲ 多文化共生の推進	1 地域間交流	(1) 地域間交流の推進	①親善都市及び姉妹都市との交流の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	町内の子どもたちが姉妹都市や親善都市の子どもたちと交流をすることにより、親睦を深め、グローバルな視野や考え方の醸成を図る。								
対 象	親善都市(三原市):小学5・6年生 姉妹都市(オーストラリア、ポートスティーブンス市):中学2年生								
内 容	三原市とは隔年で相互訪問、ポートスティーブンス市とは毎年6名の中学生と引率教諭により訪問、ホームステイし、市役所などへ表敬訪問、現地の学校への通学も行う。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		48,507	753,740	1,280,586			
	人件費	常勤職員	130,401	849,900	892,890			
		会計年度任用職員等	11,796	140,197	149,032			
		人件費合計	142,197	990,097	1,041,922			
	総事業費		190,704	1,743,837	2,322,508			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金		24,000	376,000	490,000			
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		166,704	1,367,837	1,832,508			
	財源合計		190,704	1,743,837	2,322,508			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
交流日数			交流機会を作る		日	2	2	3
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
参加人数			交流体験への参加		人	10	20	30
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町内の小・中学生が対象となり、親善都市と交流するため、町内の各学校や、親善都市の学校・行政との調整が必要となり、町が実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	親善都市の方と交流を深めることができ、また、親善都市のことを深く知ることができている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	親善都市の児童・生徒がお互いの町を行き来することで、児童同士の交流を深め、お互いを深く知ることができている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	選考は、抽選や選考試験など公平を保った方法で実施している。また、町内在住の対象年齢の方も募集している。
令和4年度までの自己評価または改善点		令和4年度は三原市の児童が湯河原町を訪問。 ポーツティープンス市との交流は中止。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	親善都市委員会又は行政を通しての交流であるので、委託は困難。
令和5年度の見直し及び改善予定	令和5年度は湯河原町の児童が三原市を訪問。 ポーツティープンス市との中学生派遣については、引き続き、関係機関との協議、調整を継続する。	
令和6年度以降の方向性	令和6年度は三原市の児童が湯河原町へ訪問する予定。 ポーツティープンス市との交流については、引き続き、関係機関と協議しつつ、今後の交流の在り方などを検討する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(見直し)	ポーツティープンス市との交流については、関係機関と協議しつつ、今後の交流の在り方などを検討する。
---------	---------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	
---------	---------	--